



駒小だより

教育目標

- 考える子
- 協力する子
- 元気な子

平成23年10月4日

10月号

豊島区立駒込小学校

期待に応える喜びが成長を支える

校長 山田修司

秋の爽やかな天候のもと行われた**運動会**は、子どもたちの**力一杯**の競技や一つ一つの動きを意識した演技など、見る者に感動を与えてくれる内容が盛りだくさんでした。多くの保護者の方が来校され、子どもたちへの**熱い声援**を送っていただきましたことをお礼申し上げます。一つ大きな行事を経るごとに、子どもたちは力を付け、たくましくなっています。学習活動での成長とはまた**違った面**が見られるところです。


また、5・6年生にとっては、係の仕事や準備を通して、陰で**支えることの大切さ**を学ぶ機会でもありました。運動会を行うためには誰かがやらなくてはならないことや苦勞が多くてたいへんなことなどに、不平を言うことなく黙々と取り組んでいる姿に、高学年として**頼りがいのある存在**に感じました。

さて、今回は運動会の**ルーツ**について探ってみました。それは、明治7年、中央区築地にあった海軍兵学校でイギリス人英語教官ストレンジのもとに催された「**競闘遊戯会**」だと言われています。今でも種目として残っている「玉入れ」「騎馬戦」なども、明治30年後半に始められたそうです。現在の運動会では、大きく大別すると、短距離走、ダンスや伝統舞踊、組体操などの表現種目、そして組ごとが競う団体競技に3つになります。よく考えてみると、保護者の方々が小学生だった時も、今とあまり変わらない種目構成だったのではないかと思います。これだけ社会が変化し発展する中になって、大きく変わっても不思議でない運動会の種目が、伝統的に受け継がれていることは、やはりそのものがもつ魅力、長い間に集約され残ってきた力というものを感じます。運動会は成長する過程にある者だけでなく、大人にとっても何かしら影響を残していく存在なのかも知れません。

第2週の12日から4年生は**秩父移動教室**に行ってきます。初めての宿泊学習となりますが、学校とは違った姿が見られるのではと思っています。

10月の行事予定



1日(土) 運動会	11日(火) 竹岡帰園日・集金日	20日(木) 視力検査 4年
2日(日) 竹岡運動会	秩父前日検診 4年	21日(金) 4時間授業
竹岡中間帰省	12日(水) 秩父移動教室(始) 4年	視力検査 5年
3日(月) 振替休業日	4時間授業	24日(月) 読書旬間(始)
4日(火) 安全指導・5時間授業	13日(木) 秩父移動教室(終) 4年	視力検査 6年
5日(水) 4時間授業	14日(金) 避難訓練・クラブ	26日(水) 合同パトロール
自転車教室	17日(月) 視力検査 1年	27日(木) 社会科見学
6日(木) 歯科検診	18日(火) 遠足1年・視力検査 2年	(清掃工場)4年
7日(金) 委員会	19日(水) 視力検査 3年	28日(金) クラブ 
10日(月) 体育の日	研究授業5-1 10月誕生給食	

運動会

運動会主任 木村 収吾

紅組よ ほのおのように燃えあがれ
白組よ ひかりのようにつきすすめ

10月1日（土）。天候にも恵まれ、予定通り運動会を行うことができました。全力で駆け抜けたかけっこ、一人一人の力を合わせチームとして戦った全員リレー、声をかけ合い協力して取り組んだ団体競技、何度も練習を積み重ねみんなで一つの作品を作り上げた表現、運動会を締めくくる大一番全校競技。どれも、精一杯取り組んだ練習の成果を発揮することができました。

また、5、6年生の係活動も、運動会を進めていく上で、大きな役割を果たしました。特に、応援団は、2学期が始まると、20分休みや昼休みも練習に励み、当日までがんばってきました。自分たちで踊りを考え練習した応援ダンス、赤白ともに白熱した応援合戦、運動会を大変盛り上げてくれました。また、代表委員会児童は、まさに「縁の下の力持ち」でした。この運動会に先駆けて計画を立て、7月には各学級で運動会のスローガンのキーワードを考え始めるよう、集まったキーワードを基にスローガンを考え、応援団、あるいはそれぞれの学級で、紅白の仲間で、一致団結できるよう土台作りを行いました。

どの子ども競技や演技を終え、自分の力を出し切り、満足している様子がとても印象的でした。精一杯自分の力を発揮し、一人一人が輝き、心一つにすることができた証拠だと思います。そして、運動会を通して、子どもたちは一回り大きく成長することができました。このように、自分の力を出し切り、成長することができたのも、当日まで子どもたちを励ましサポートし、また、当日温かい声援を送ってくださった保護者の皆様、地域の方々のお力があってこそだと思います。本当にありがとうございました。

お知らせ

副校長 高木 庸子

○駒桜通信

「駒小だより 9月号」にて、「学校運営連絡協議会」で出された意見として、「駒桜の行く末を心配している。校内に、新たな木を植えて欲しい」という意見を紹介させていただきましたが、教育委員会にも地域の方の駒桜を心配する声が寄せられました。専門家に見ていただき、今後数年間は現在の駒桜に少しでも長生きをしてもらえるように、根本の土面積を広げ、幹の空洞化の手当をしていくことになりました。しかし、そもそも桜の寿命は60年くらいとのことで、何年か後には、植え替えをしなければならないそうです。その時は、駒桜から枝をとり、校庭や桜の里公園で育てられている、駒桜Ⅱ世の中の1本を校庭に植える予定です。

○区長室へ

7月17日に行われた「第61回社会を明るくする運動 夏の縁日と音楽会」にて、東日本大震災の被災地の方達への募金を行いました。その時の募金を、9月26日、地域の方、駒込中学校の代表生徒さんと共に、本校6年代表委員の井口さん、軽部さんが高野区長に手渡すことができました。

「5月に行った募金は、直接渡すことができなかったもので、今回、直接区長さんに渡せてよかったです。区長室を訪問するという貴重な体験もさせていただきうれしかったです。」（軽部さん・井口さん）

